

2020年 新年会 開催

2020年の新年会は1月18日(土) 定例会後の5時半から志村・浜谷名誉会員と黒田アドバイザーをお招きし、会員5名との計8名で行われました。会場は立川駅南口直近の「日本海庄や」でした。志村さん浜谷さんともお元気で、出席者全員が飲み放題の各種アルコールを機嫌よく飲みながら、ビデオの話を中心に花を咲かせました。なごやかな親善の会は記念写真を撮って7時半に散会しました。



1月定例会報告

1月18日(土) 午後1時30分～4時30分
会場：立川・柴崎学習館 第2教室 出席者7名
今月の定例会は、会員7名にアドバイザー2名とアシスタント1名を含めて10名でした。

1. 自主作品の発表と講評

片桐 康博さん「熊本地震から4年後のラピュタの道」
4分58秒 (HD)



2016年4月の熊本地震から4年近く経過し、被害にみまわれた「ラピュタの道」のその後の様子を撮影した。(撮影日 2019年11月)。評：スーパーについて：多用しすぎ、また数字はなるべく使わない、表現は分かりやすい方がよい。文字はもう少し小さくてもよい。話の内容がもう少し前向きな方向だとよい。俗称は「」ではなく” ”で囲む。撮影について：阿蘇山から入った編集のほうがいい。地割れのアップが欲しい

飯山 一伸さん「NPOさんさんくらぶ～田植え」7分
(HD)



多摩ニュータウンで四季折々の多くの野外活動を進めているNPO団体の会員募集用のプロモーションDVDです。評：時間を3～5分に短縮が可能である。NPO活動内容と代表紹介の説明が不足している。ピザパーティーの開催趣旨の説明がない。子供たちの美味しそうな笑顔が欲しい。撮影が一方向で単調、音声も良くない。

片山 正晴さん「令和元年のお伊勢参り」6分15秒(HD)



をいただきました。評：単調である、メリハリが欲しい。縦画像は入れないほうが良い。地図でルートを示してはどうか。

昨年7月、令和元年を記念して伊勢神宮のお伊勢参りをしました。外宮、内宮を巡りご祈禱を受けてお神札(おふだ)

荒木 勉さん「祇園祭の解説」10分 (HD)



祭りの原点ともいえる京都祇園祭について解説したものです。去年の9月に発表したものを修正しました。評：全部がすごいとわかりにくくなるので、いくつかの山を作ってメリハリをつけたほうが良い。テロップはもう少し省略する。

祭りの原点ともいえる京都祇園祭について解説したものです。去年の9月に発表したものを修正しました。評：全部

黒澤 真さん「沖縄の旅 前編」6分24秒 (HD)



17年に開通した古宇利大橋(こうりおおはし)を渡りました。評：制作者の何時もの作品ワールドを感じる。fixが多くて安心して見られる。ホテル近辺の夜景はいい。普段見られない観光部分を増やした方がよい。景観の見せ方に工夫があると良い。BGM、ナレーションは作品に適合している。観光先の看板はいい、ナレーションで説明すると良い。

沖縄本島の各地にあるリゾートホテルを回る旅の前編です。初めて行った最北端部の辺戸岬(へどもさき)や平成

渡辺 實さん「歴史・自然遺産巡り」4分14秒 (HD)



環境保全の会が府中市内の甲州街道一里塚の石碑、西府ハケ沿い市川用水の黄・紅の秋色、熊野神社と古墳などを見学しました。評：こんな所にこんな物があると

は、いい作品だ。リメイクしてもっと見てみたい。

小川 旭さん「H₂O (エッチ ツー オー)」5分40秒 (HD)



実験的ムービーです。アキラ映画としては珍しい教育ムービーです。評：黒田さん:

「水」は永遠のテーマ。しかし、それが伝わってこない。冒頭のカップにつく水はお茶だったので、それは「透明の水」であってほしかった。飲んで「水」もお茶だった。作品のコメントとスーパーが殆ど同じ。重要な「単語」だけを出すべき。最後に「小川ワールド」になったが「携帯」のシーンが「縦型」になっていたが、何故「縦型」にしたのかが良く分からない。面白く作ってはいるが、もう一工夫が欲しかった。塩原さん:フリー素材の映像と小川さんが撮った映像の「ギャップ」があり過ぎた。全体的な流れで言うと、面白おかしく作られている。やはりわたしも「携帯」の縦型映像に違和感を感じた。しかし、静止画などは上手く使っている。「嵐」の映像なども上手く加工されていると感じたが、出来れば嵐の映像も機会があればチャレンジしてみる事。小川さんなら出来ると思う。余計なテロップは入れない事。

小川 旭さん「にぎやかな街で」3分3秒 (HD)



これも実験的映像、ローアングルで撮った効果があったでしょうか。現地音声と私の声がアレンジされています。評:

黒田さん:小川さんにどの様な「コンセプト」作ったのかと聞きたいのだが?どう捉えたら良いのか、コメントのしようがない。街の一コマではあるが、作者の意図が余り感じられない。足元の「歩き」の約一分半で何を感じさせるか?「若者が良い靴」を履いているな、くらの事しか感じなかった。塩原さん:これは「小川ワールド」です。わけが解りません。この作品の意図が分からない。しかし「何か」に繋いでくれれば良い。まだ骨組み状態なので、ここから肉付けして行くのだな、と云う事は分

かる。街を歩くシーンは「繰り返し」使用しているので、もっと長回しして撮るとよい。これにどう「肉付け」して行くのか?小川さんの事だから、もっと「肉付け」して改良するだろう。冒頭の「ズーム」「女の子」「足元の通行人」これらをどう繋げてゆくのだろう。これから結末が見えてゆくまで作り込んで下さい。

みんなの広場



私のビデオ編集環境

片山 正晴

私が今までビデオ編集に利用していたノートパソコンはWIN7ですが、1月14日にサポートが終了しました。Win7を利用しなければ問題ないとは思いますが、多少セキュリティ上の不安があるのと、ビデオ編集にはかなり容量不足を感じていましたので新規購入を図りました。そこでその後継機として、昨年の8月に富士通製のデスクトップパソコンを購入しました。モニターは一体型で、幅616×高さ442です。CPUはi7、12スレッド、メインメモリーは32GBです。初期設定、データの取り込み、メール設定などで2ヶ月程は苦労しましたが、現在は落ち着きました。画面が大きくなり、ビデオ編集には最適です。そしてビデオ編集ソフトフリーのDaVinci Resolveをインストールしました。基本的な機能を使って、何とか作品作りにトライしていますが、これからいろいろな機能習得を目指して頑張るつもりです。

3月以降の定例会の予定

3月7日(土) 柴崎学習館 第2教室

4月18日(土) 同上 第1教室

5月2日(土) 同上 第2教室

開催時刻はいずれも13:30からですが、早めに来場して会場準備等に協力をお願いします

(編集後記)

11月の浜谷セミナー記事を荒木さんに、12月例会記事は渡辺会長に代行していただきました、有難うございます。

新型コロナウイルス騒動最中ですが、暖冬で梅の開花は順調です、近場の梅見、梅まつりの作品作りを楽しみたいです。

(片山 正晴 記)